

# 保育北九州

平成30年7月1日

発行 (一社)北九州市保育所連盟  
〒805-0019  
北九州市八幡東区中央2丁目1-1  
(レインボープラザ5F)  
電話(093)661-2153番

発行人 酒井光義  
編集人 日野真人

2018 192



## ゴルフ場に行ったよ

(5歳児の作品)

〈提供 門司支部〉

表紙	1
改定保育所保育指針施行に寄せて(後編)	2～3
仲間たち	4～5
研修・一期一会	6
支部近況	7
雑感・編集後記	8

# 改定保育所保育指針施行に寄せて（後編）

## 小学校との連携を中心に

北九州市保育士会 会長 北野久美

191号では保育所保育指針の5章だての全体像について述べさせて頂きましたが、今号では「幼児教育を行う施設として共有すべき事項」と、「小学校との接続」を中心に考えてみます。

前号同様、解説するというような立場ではありません。あくまでも一会員としての私見であることをお許しください。

「読解不足、見解違い等」指摘、ご教示いただけましたら幸いです。

### 【第一章総則】4

#### 幼児教育を行う施設として

#### 共有すべき事項

今回の改定では指針の肝である総則がかなり整理されています。

① 保育所保育に関する基本原則「保育所の役割や目標、社会的責任はこ

れまでと同様

② 養護に関する基本的事項を加筆したこと（理念とねらい及び内容）↓  
養護が保育の前提条件であること  
を明示

③ 保育の計画を「保育課程の編成」から「全体的な計画の作成」に変更

④ 法律上教育機関ではない保育所が「幼児を教育する施設」と位置付け

「幼児教育を行う施設」として共有すべき事項」として「育みたい資質・能力」の3項目と「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」が10の柱だてとして記載。小学校との接続がより意識付けられた（ただし到達目標ではない）

総則に、「養護」が入っていることは、指針策定以来変わることない「保育所（園）は『子どもにとって最もふさわしい生活の場』であること」を国が、そして保育者が宣言したことと同じだと

思っています。

また、「保育課程」という言葉で10年間を過ごしましたが、その内容に込める子どもに関する法令や権利を根っこに置きつつ地域性、園の独自性等を加味して園全体で作り上げる大きな計画ですから、全体的な計画」という文言が適用されることは、当然のことともいえます。

さて、④の幼児教育の位置づけですが、今回は就学前の子どもの保育をする場の指針や要領が改定（改訂）されたわけですから、これまでの「〇〇に準じて」とか「差がないように」ではなく、むしろ「せいの」という掛け声のもと整合性が図られた内容になっています。さらに、この背景には中央教育審議会で検討されている小学校学習指導要領の改訂も大きなキーポイントになっていると考えます。つま

り、どの就学前教育・保育を受けていても卒園までに育ってほしい姿を同じ尺度でとらえるとともに「育みたい資質・能力」の柱だてを小中学校まで統一した文言にすることで、小学校や中学校への就学に対する垣根を取り除きたいというねらいもあるのでしょうか。ただ、後述しますがこのおさえを的確にしておかないと、まるで『到達目標』のような誤解を招きかねない懸念があります。

### 第2章4(2)小学校との連携の項

目でも、保育における「学校教育との整合性、小学校との接続」がかなり強調されているのは、前述しましたように、平成28年12月に出された中教審答申「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について」が、幼稚園、保育所、幼保連携型認

定ことも園の教育課程へと活かされることが大きく影響しています。すべて「等しい教育」なのですから、どの園に通おうとも同じ教育が受けられ、教育の連続性を確保するという理屈はわかりますが、「教育重視」に偏って「育ってほしい10の姿」が、育たなければならぬ《到達目標》と勘違いされないような保育の展開が必要です。あくまでも子どもが育っていく上での方向性であり、その構造化を図ったことで幼児教育の共通性が確立したと考えます。

乳児期が養護を支えとして3つの育ちの視点でとらえ、↓さらに「資質・能力」の柱を小学校以降の学習指導要領の文言と整合性を図って3本の柱で示したこと、↓もちろん5領域の視点はそのままに、↓さらに幼児教育の終わりまでに育ってほしい姿を10項目挙げた点は、ともすれば「到達目標」として誤解されかねないくくり方です。

しかしこれまで就学前の子どもが育つ場と、小学校との「共通の言葉」がなかったことが認識の段差を生むことにつながっていたとすれば、今回の文言の共有化は接続のしやすさにつながるのかもしれませんが。

小学校との情報共有として、就学前に子どもの育ちを支える資料「保育所保育児童要録」を小学校へ送付していますが、これは市町村の支援のもとに送付することになっていきますので、保育課を交えた帳票検討会の中で国の示した(案)をもとに北九州としての書式を検討中です。書式が決定しましたら皆様へお示しさせていただきます。この書きぶりも、10の姿を単体としてとらえたり、目標の姿にならないよう留意するとともに、言葉の共有化を活かした、本当の連携につながるきっかけになるよう検討したいと考えています。

ただ、ポケベルがPHSにそして携帯へ、今では乳幼児でさえスマホを上手に操作します。タブレットが普及し逆にPCを操作できない、LINEの影響でメールができない…そんな状況を数年前に予測できたでしょうか。世の中は想定を超えて急激に変化します。10年後に無くなる職業が発表され、2020年には女性の約半分は50歳以上という人口動態も少子化を裏付ける数字として発表されています。では、これからの時代を生きていくための幼児期において育みたい資質や能力って何でしょう。これをこれ

までに生きてきた大人たちが本当に考えなければいけないことです。

それこそ、感じたり、気づいたり、わかったり、考えたり、試したり、工夫したり…つまり心情・意欲・態度であり、社会情動性スキルといわれるものがあると思います。そしてその下支えとして成り立っているのは、愛着関係、自己肯定感なのですから、一人一人にたくさんの愛情のシャワーをかけ、友達関係の中で育ちあつて欲しいと願っています。

本来「心情、意欲、態度」を育てることを主眼とした「保育」の中で学びに向かう力や非認知能力をはぐくみ、遊びの中には学びがいっぱい！と私たちは保育を展開してきたのですから、「養護と教育が一体となった保育」を、今後も自信をもって深めていきたいものです。

さて、この記事を書いているときに飛び込んできたのが、虐待死した結愛ちゃんの事件、引き続いて起こった新幹線車中での殺傷事件、さらには、数万人の足に影響した新幹線自殺の報道です。6人に一人が虐待を受ける時代と言われています。成長過程で何らかの要因があつて周囲の大人と愛着

形成が作れず、自己肯定感を持ってないままに大人になり、歪んだ価値観を持つ、大きく深い事情はあろうとも、いただいた命を自ら絶とうとする…私たちはそういう大人になるよう子どもの傍らにあるわけではなく、子どもが自ら伸びていく力を信じて、子育て支援、子育て支援に加えて親育ち支援や親子関係支援の中で、子どもの育ちを保障し、親になる過程を支援していきます。人を信頼する大人へと育つよう願って一人一人の子どもにとって最もふさわしい生活の場として保育を展開しているのです。

2号にわたって、改定された保育所保育指針について述べる機会を頂きましたが、本来、保育所保育の目的は、0歳から6歳までの子どものいのちを守り、心を育てることが基本であるということを中心とした藤岡先生(保育士会名誉会長、保育所連盟顧問)からのメッセージ(北九州市保育士会刊行保育ハンドブック 北九州の保育者魂を継承するあなたへ)参照)を今一度読み返しています。軸のぶれない保育を実践したいと強く思い、そのガイドラインである保育所保育指針を福祉と教育の視点でしっかりとらえたいと考えています。



今回は実際に学童保育を運営する二ヶ所の社会福祉法人北九州市福祉事業団 皿倉放課後児童クラブと社会福祉法人 法順会 足原学童保育クラブにお話を伺いました。

皿倉放課後児童クラブは皿倉小学校の敷地内にあり皿倉小学校に通っている子どもたちを預かっています。預かる子どもが増加したことに伴い2棟ある学童クラブの建物に加え、小学校の空き教室を学童保育の部屋として利用しています。広い校庭でボール遊びや遊具で思い切り体を動かすことができます。2階建ての建物は、1階ではおやつを食べたりゲームで遊んだりして過ごし2階は静かに宿題や読書をするのに落ち着く為の空間として使

われています。

足原学童保育クラブは小倉北区の閑静な住宅街の中にある浄光寺の敷地内にあります。利用しているのは足原校区の子どもたちです。以前あった乳児保育園を改装して大勢の子どもたちが勉強や食事をするのに使いやすいようにと畳のある和室や広い遊戯室があり、2月時点ではいくつかのこたつをテーブルとして使っていました。毎日の手づくりのおやつを作るための大きな給食室があり、子どもにも提供するおやつを職員が毎回手づくりしています。また、子ども達はお寺ならではの本堂礼拝や鐘つきをしています。

どちらも子ども的人数に対し空間を確保しストレスを感じにくいよう気持ち良く過ごせるよう配慮がされています。特に皿倉放課後児童クラブは北九州市の児童クラブの中でも利用者が多いです。

**Q. 放課後児童クラブを作ったきっかけは？**

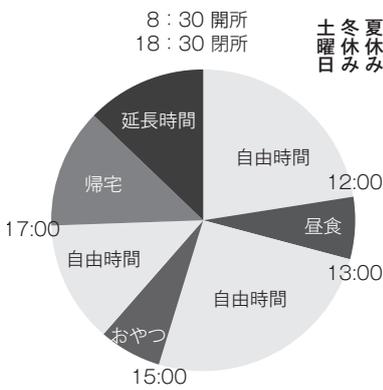
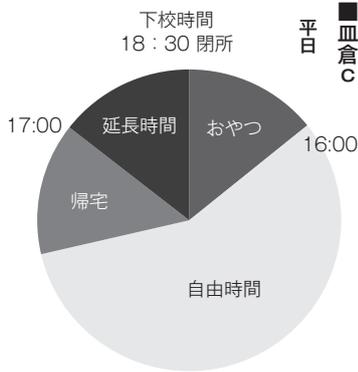
※皿倉放課後児童クラブⅡ(皿倉C) 足原学童保育クラブⅡ(足原C)  
 A.(皿倉C)平成18年4月から北九州市の委託を受け運営しています。(足原C)平成6年4月から北九州市の委託があり、お寺の住職でも

ある理事長が、学校から下校して近所で遊んでいる子どもが多く、安全に預かれる施設が必要ではないかという思いがありました。

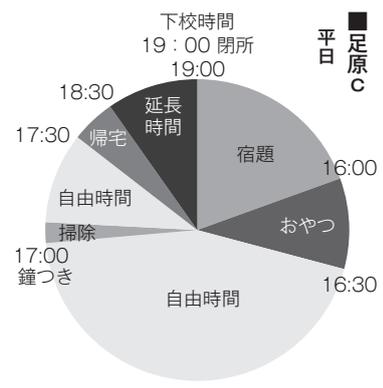
**Q. 現在児童クラブに在籍している子どもの人数は？**

A.(皿倉C) H30年3月は156人 (足原C) H30年3月は123人

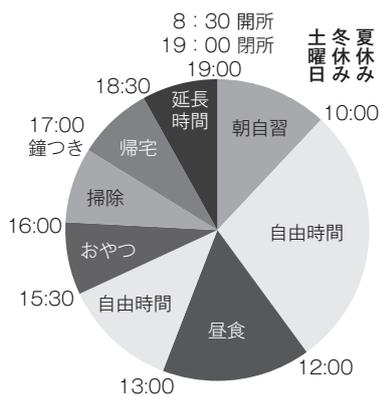
**Q. 一日の流れ(開所時間等)、職員体制を教えてください。**



A.(皿倉C)4月当初から職員10名+加配職員2名体制であたっています。



A.(足原C)職員は10名です。臨時職員が1名合計11名います。



**Q. どんな行事がありますか？**

A.(皿倉C)夏休み、冬休みを利用して学年ごとに出かけます。父母会が事前に決めた場所に保護者と引率職員で交通機関を利用して出かけ



足原学童保育クラブ スタッフ

出かけました。その他にスイカ割り、カレー作り、かき氷大会、1泊キャンプなどがあります。  
 (足原C)毎週本堂礼拝があり、月に一回誕生日会があります。夏休みには職員と子どもたちで泊りがけのキャンプやバスに乗ってプールに出かけます。

Q. どういったところに気をつけて運営していますか？

(皿倉C)子どもの体調や落ち込んで元気がないなどの様子を確認



足原学童保育クラブ 室内の様子

し、具合が悪い時には熱を測ったりしてお迎えの際や連絡帳で伝えていきます。

昨年度から学年ごとの担当職員が1人になり、リーダーは全体の管理をしています。担当制になり気になる子どもに関しては次年度も同じ職員が引き継ぐように配慮しています。1年生は幼稚園、保育園との引き継ぎを行い態勢を万全にしたうえで、入学前の4月当初からスムーズに受け入れられるようにしています。

(足原C)子どもとのかかわり方、子ども同士のトラブルなどでケガの



皿倉放課後児童クラブ スタッフ

ないように目を離さないようにしながらも個別の配慮など職員間で情報を共有しています。忙しい保護者に負担をかけないようにしています。学年ごとに下校時間がまちまちですが、職員は1年生が帰ってくる15時から入り口に立って出迎え、また雨が降っている日はタオルを持って出迎え、体を拭いてあげるようにしています。みんな笑顔で元気よく「ただいま」「おかえり」の挨拶をきちんと交わすようにしています。

(インタビュー) 保育北九州編集委員

〈インタビューを終えて〉

今回二ヶ所の放課後児童クラブを取材させていただき、保育所同様希望者は増えています。保育所同様に希望も待機児童をつくらないなど工夫されてきました。学童費や預かり時間、過ごし方にそれぞれ良さがありません。

家庭で過ごせない代わりに家庭と同様に温かい雰囲気でも過ごしやすい心を砕いている所は両施設同じでした。共働き世帯が多くなっている現在、地域の放課後児童クラブはなくてはならない施設となると実感しました。



皿倉放課後児童クラブ 外観

# 研修・一期一会

## 第61回 全国私立保育園 研究大会に参加して

平成30年6月4日～6日、名古屋国際会議場において「視点はいつも子どもたち 子どもと向き合う新たな文化」というテーマで、第61回全国私立保育園研究大会が開催されました。

大会1日目、厚生労働省子ども家庭局保育課より「改定保育所保育指針について」と題して、改定の背景、改定のポイントについての説明がありました。全国私立保育園連盟常務理事の塚本秀一氏の基調報告「保育を取り巻く動向と情勢について」の中で、東日本大震災ならびに熊本地震への復興支援（子ども・保護者・保育士への心のケア）のお話があり、被災地で生活している方々に対して自分は何が出来るのだろうかと考えさせられました。シンポジウムは「非認知能力と3要領・改定（訂）における10の

姿について」乳幼児期の保育実践から考える」と題して、汐見稔幸氏、井桁容子氏、山中健司氏の3氏のお話でした。21世紀中盤の社会の課題は、メディア革命により生活が激変し、自分の体を使う活動、頭で考えること、人と直接関わることが減っている、ということでした。私たち保育士は、子どもが没頭して遊ぶこと、やり続けること、意味を考える体験をすること、人とコミュニケーションを図ること、失敗を沢山経験すること、を意



識して保育・教育していくことが非認知能力を育てることにつながると学びました。汐見先生の「子どもが人間らしく生きるために大事なものは、人材（保育士）と教育である」という言葉が印象に残っています。

大会2日目、私は7分科会「支援を必要とする子どもの理解と援助」に参加しました。3園の先生方からの事例発表は、同様のケースが自園でもあり、大変勉強になりました。また、自分自身の保育を振り返ってみると、子どもではなく私中心の保育になっていたことを反省させられました。グループワークでは、地域のネットワークを活用し子どもや保護者の支援につなげているといった意見や保護者の承諾が難しい、気になる子が多いなどの悩みを共有することができ有意義な学びとなりました。

大会3日目、元マラソン選手有森裕子氏より「夢はかなうあきらめない心を持って」とのテーマで講演して頂きました。スポーツを通じて自分自身変化ができる。相手を応援することで互いに喜び合い成長につながる。一つ一つ経

験することで楽しさを見つけ感じることが出来る。何にでも頑張り続けることで結果や成長へとつながり自分のやりたいことを探し出すことができる。一人一人の才能チャンスはどこにあるか分からないからこそ小さなことでも認めることで自信や喜びにつながっていく。というお話を聴き、私たち保育士は子どもの生活や遊びの中で共感したり応援したり側に寄り添いながら見守っていかなければならぬし、子どもにとって自分を認めてくれる人であり自信を持たせてくれる人であればならないと強く思いました。

北九州の保育の原点である「視点はいつも子どもたち」。この3日間の研修を通して、子ども一人一人のありのままの姿をしっかりと受け入れ、認めていくことが大切だということを改めて感じました。子ども一人一人が心地よい過ごしやすさと思えるように環境を整え、日々の関わりを大切に自己研鑽しながら保育の充実を図っていききたいと思います。

片野保育園 大田 琴美

支 部 近 況

第18回

若松区篇



若松コスモス保育所

若松コスモス保育所は高塔山のふもとにあり、周辺には商店街や消防署、海もあります。子ども達は、幅広い年齢の保育士に見守られながら、毎日元気に園庭でダンゴ虫を見つけたり、お散歩を楽しんだりしています。

畑保育所

「あらヨイショ！」夏が近づくと、みなと祭りに向けて五平太太鼓の練習スタート！保育所代表の年長児は、小さいクラスの子どもの憧れという光線を浴びて、まるで皆のヒーローのよう☆今年の演奏にも期待です♪

二島保育所

園庭のビオトープのメダカがおなかに卵をたくさんつけて元気に泳ぎ回っています。子ども達はその様子を嬉しそうに覗きこんでいます。4月には地域のおじいちゃんの協力を得て、たけのご堀りにも出かけました。

石峰保育所

日頃、温かい緑茶を飲む機会がない子どもたち。保育所で毎月、和菓子のおやつ時に「急須で入れたお茶を飲む」という食育教室を立てました。「いいにおい～」と香りをかぎながら玄米茶をおいしそうに頂いています。

古前保育所

当園は市民センターに隣接し、地域交流が盛んです。敬老会では必ず「五平太太鼓をお願いしたい」と5歳児の太鼓演奏を楽しみにして頂いています。只今7月の「若松みなと祭り」に向けてはりきって練習しているところです。

日吉保育園

四季を通して緑に覆われた神社に隣接した静かな場所に立地し、自然に恵まれ一年を通じて生き物を観察でき、好奇心旺盛な子ども達が、多くの事を発見し、満足できるような園です。

あおぞら保育所

4月27日、年長児クラスと年中児クラスの親子バス遠足がありました。目的地の下関海響館では、様々な海の生き物を見たり、パパやママとお出かけたことがとてもうれしかったようで、後日の思いでの絵の中にあふれていました。

松美保育園

周りに山や海があり、トトロの森の中のような保育園です。若松野菜も有名で、毎年近くの農家の方の協力でスイカの苗植えをしています。今年も30本植えました。成長を楽しみに皆でお世話をしています。沢山出来るといいなあ……。

高須保育園

ドンドンヤー！年長児の保育室には、力強く心地よい和太鼓の音が響いています。子ども達の大好きな和太鼓演奏。心身の健全育成を目指し、意欲満々、音を合わせ心を合わせ、自信を胸にみんなで元気に練習しています。

鴨生田保育園

当園の年間保育テーマは去年より「若松」です。子どもたちのグループ名も「あじさい」「とまと」「河童」など地域を意識する取り組みをしています。若松ならではの社会体験もし、子どもたちは大好きな若松で成長しています。

大鳥居保育園

5月18日に総合消火訓練を行い避難・通報・消火訓練、防火DVDの観賞と「火」の危険性を教わりました。避難訓練では「お・か・し・も」をしっかり守り素早い避難を行う事ができ、車両見学では興味津々の子ども達でした。

花乃路保育園

敷地内の37本の桜に見守られ隣接する特養「花乃路」の年長者と交流を行っています。また、木造平屋建ての木の温もりの中で、保育士の温かなまなざしのもと、子ども自らが伸びようとする力を育めるように保育実践を積み重ねています。

ひびきの保育園

以上児クラスは毎朝ウォーキングに出掛けます。四季を感じながら、地域の方々に元気に挨拶しています。また、郵便局やお花屋さん、動物病院等との触れ合いの中で、様々な出会いや発見を楽しんでいます！

深町どんぐりのもり保育所

毎朝、3・4・5歳児クラスは朝散歩を楽しんでいます。始めた当時は一つだったお散歩コースが、今は幾通りもあり、「交通局回り」「長い階段コース」など楽しみにしています。秋には2歳児も仲間入りします。



## わたしのおかあさん

(5歳児の作品)

### 雑感 「懐かしさを感じる関係」

親にとって、いつまでたっても子どもは子どもというが、その関係は生まれ育った地域の人との関係にも言える。最近、よく思う。私の生まれ育った所は北九州市から車で1時間ほど走った所にある。夜になるとしんと静まり返り、星がきれいで、今の時期は庭に蛍が舞っている。就職して5年まで実家で暮らした。私は第二次ベビーブームに生まれたので近所には同世代の友だちが多く、子ども会も盛んであった。また昔からの二世帯家族が多く、近所の人とは世代を渡って顔見知り、会うと何かしら声を掛けてくれた。幼い頃はもちろんのこと、高校を卒業した頃は「おせらしくなったね(大人っぽくなったね)」、「就職したときは「今、どうしてる? (何している?)」などだ。

自宅近くに商店があり、そこでよくおやつを買った。100円を持って10円、20円、50円のお菓子を100円分買うのに迷って、とても時間がかかった。しかし、店のおばちゃんはずっと見守ってくれていた。「これとこれを買うとちょうど100円になるよ。」とたまにアドバイスをくれた。

ほとんどの家が兼業農家で稲作をしている。そして住宅近くに畑をもっている。その畑で季節の野菜を作っている。誰かしら玄関先に採れた野菜を置いてくれて

いた。そして誰が持ってきたのか両親は予想がつくのだ。そしてまた自宅で採れた別の野菜を持っていく。そういったコミュニケーションがあった。「ごめんください。」といつも誰かが訪ねてきて煩わしいなと感じることがあった。また、「昨日は遅くまで電気が点いていたね、勉強、頑張っていたね。」などと、よく見ているなあと思うこともあった。しかし、電気を点けたまま寝ていて、父からよく叱られたものだった。

最近、よく実家に帰る。近所の人に会うと、「帰ってきてるん?」「今日は泊まるの?」と声を掛けてくれる。その時、私は戸惑ってしまう。幼い頃の私の面影を通して接してくれるからである。タイムスリップした感じになる。昔のままの関係なのだ。その関係に懐かしさを感じる。先日、実家に帰った時、「ゆきえちゃんが帰ったら渡して(近所の方が)キャベツをくれたよ。」と持たせてくれた。有難いことだ。そして食卓でおばちゃんの顔、キャベツが採れた畑を思い浮かべながら食する。プライバシーがあるようでないような関係が嫌な時もあったが生まれ育った地域の人との関係が今も続いていることを嬉しく思う。

徳吉保育所 石本由紀恵

## 編集後記 — 光を与える —

メキシコに在住している方がこんなことを書いていました。メキシコでは、女性が子どもを産むことを「光を与える」と言っています。お産をするという表現の仕方をなんと美しい言いまわしをするのでしょうか。

「光を与える」という表現は、太陽のもとにいのちを産み出すという、メキシコの人達のいのちに対するそれ以上の思いがあったからではないでしょうか。

言葉にはそれぞれ、心があるということを思う時、きっと温かい思いやりの心がそこに込められているように思われます。

近年は「子どもを作る」という言葉を耳にしますが、何か物を生産するかのよう受け取ります。少し前までは、わが子を「授かっ

た子ども」と言ってきました。そしていのちの誕生を家族で喜んだものです。しかし、テレビ、新聞等で児童虐待、育児放棄で死亡のニュースを目にするようになりました。やっと人間として与えられたいのちが誕生し、成長していく過程で、日常的に行われる虐待の末に死んでしまう子どもや、親になっての知識がない為に、知らず知らずのうちにいのちの危険にさらされて、親みずからがそのいのちを奪うのです。

もう一人も虐待、育児放棄で死なせない、子ども達のいのちを守るための対策を願うものです。メキシコの人達の「光を与える」という言葉の心を思いながら、光を与えるべく子ども達を育てていかなければと思うのです。

「保育北九州」編集長代理 西敏昭